

主題設定の理由

新しい時代がやってきた。超スマート社会「Society5.0」の到来とともに、それに向けた人材育成や社会が大きく変わっていく。グローバル化、多様化の広がる社会において、約140年ぶりに見直される成人年齢は2022年4月から18歳に引き下げられる。ますます、子どもたちを立派な大人として自立させる小学校教育で培っていかねばならない人格形成と社会性の育成の基礎づくりが大切になってくる。

子どもたちの人格形成と社会性の育成のために、私たちは、学校教育をキャリア教育の視点で見直し、子どもたちの将来にわたり、自立の基盤となるキャリア教育の4つの基礎的、汎用的能力の育成を目指していく必要があると考えた。

そこで、校訓「浜っ子」育成を基本理念として、「役割」と「責任」を果たし、互いに自己有用感を味わって生活する子どもたち、保護者地域の利点を全教育活動に生かしながら、「豊かな心をもつ浜っ子の育成」を目指し、授業規律を基盤に、次の仮説と手立てを立てて、キャリア教育の実践研究に着手した。

目指す児童像

- <浜っ子>
- 進んで学ぶ子
 - 丈夫な子
 - 愛情豊かな子
 - やりとげる子

研究の仮説

- ① 教科学習、特別活動や総合的な学習の時間等で、子どもにつけたい力をキャリア教育の視点で捉え、自己有用感を高めれば、生き生き学校生活を送ることができる。
- ② 教科学習、特別活動や総合的な学習の時間等で、子どもたちが地域の人・こと・ものとかかわり、自己有用感を味わうことができるようにすれば、地域の中で豊かに生活していることを実感できる。

研究の手立て

- 授業研究部（学習リーダーの育成）
- 児童活動研究部（児童活動リーダーの養成）
- 地域連携研究部（地域サポーターの活用）